

令和5年度学校評価アンケート結果に対する反省・改善意見

学力の向上に関する質問

1 充実した授業を行っていると思いますか。

・「肯定的評価」（「はい」＋「どちらかといえば、はい」）の数値は以下の通りであった。

	2021年	2022年	2023年
生徒	89.9	87.1	89.1 (%)
保護者	82.0	79.6	82.1 (%)

○高い評価と考えられるが、教員研修のあり方などを検討し、更なる改善に向けての努力を続けていきたい。あわせて、生徒と保護者の評価のギャップについても考察し、授業改善の一助としたい。

2 少人数授業・習熟度別授業は生徒の学力向上に役立っていると思いますか。

3 各小テストや各教科から出される課題は、学力向上に役立っていると思いますか。

・質問1への回答と同様に、質問2・3に対する肯定的な評価も生徒・保護者ともに80%を超えており、高い評価を得ているとみられる。質問1と比較すると、生徒と保護者の間のギャップはより小さい。

○ICT機器の更なる活用などを目指して、授業改善を進めていきたい。

自律心・規範意識の育成に関する質問

4 生徒の規範意識を高めるための指導を適切に行っていると思いますか。

・肯定的な回答が、生徒84.2%（前年度比＋5.6%）、保護者81.2%（同＋1.3%）との結果であった。

○一定の指導の効果はあったと考えられる。今後も継続して適切な指導に努めていきたい。

5 スクールカウンセラーの面談は、生徒への精神的な支援に有効だと思いますか。

・生徒71%、保護者81%と多くの方の理解を得ていると考えられる。
「わかりません」の回答が25%にのぼることが生徒の数値を押し下げた理由であろう。

○二人のカウンセラーとも放課後までほぼ面談時間が埋まっており、相談件数は増加傾向にある。カウンセリングにより学校生活への適応が促されている生徒も多い。

体験活動の推進に関する質問

6 部活動の活性化に努めていると思いますか。

- ・肯定的な回答が、生徒88.9%（前年度比+5.4%）、保護者83.3%（同一2.2%）との結果であった。生徒に関しては大きく伸びたが、保護者に関しては微減となった。

○肯定的な意見が8割を超えていることを考えると、一定の理解は得られていると思われるので、さらに部活動の活性化に努めていきたい。

7 学業と部活動の両立がなされるような指導を行っていると思いますか。

- ・肯定的な回答が、生徒71.2%（前年度比+6.7%）、保護者73.8%（同一0.9%）との結果であった。生徒に関しては大きく伸びたが、保護者に関してはほぼ同じ割合であった。

○文武両道の実現を目指し、高い目標に向けてメリハリのついた学校生活を送れるように支援していきたい。

8 学校行事は生徒の学校生活を充実させていると思いますか。

- ・肯定的な回答が、生徒94.2%（前年度比+2.2%）、保護者93.2%（前年度比+4%）と増加傾向の前年度を更に上回る高評価をいただいた。特に保護者については、ここ2年間で10.5%増となり、生徒の充実度とほぼ同じ水準となった。

○生徒の高い満足感が生徒を通して保護者に十分に伝わっていると考えられる。令和5年度はほぼすべての行事を開催することができた効果もある。引き続き、安全・安心で充実した教育活動の実践に努めたい。

○生徒にとって、様々な学校行事が高校生活の大きな関心事になっている。今年度の課題を見直し、生徒が主体的に取り組める学校行事を目指し、さらに充実させていきたい。

9 地域との交流活動やボランティア活動は充実していると思いますか。

- ・肯定的な回答が、生徒85.1%（前年度比+7.2%）、保護者78.0%（前年度比+6%）、となり、前年度からの上昇幅も大きく、高評価と考えられる。

○今後も生徒に対しての啓蒙啓発、意識高揚に努めたい。

進路指導の充実に関する質問

- 10 教員は面談を通じて生徒理解や保護者との相互理解に努めていると思いますか。
- 11 進路選択に関わる情報を提供していると思いますか。
- 12 進路指導は生徒個々の進路実現のために効果的に実施されていると思いますか。
- 13 キャリアアクション・プロジェクトは生徒自身が自分の進路について考える機会を増やしていると思いますか。

・生徒の回答はいずれの回答も昨年から肯定的な回答が増加している。一方で保護者の回答は昨年比で肯定的な回答が微減している。

○進路部通信、ホームページ、PTA学年部会など様々な機会を通して情報発信していきたい。

○キャリアアクション・プロジェクトは1年から3年まで一つの流れにつなげられるよう更なる充実をはかりたい。

その他の質問

- 14 学校の情報はPTA総会・学年PTA・各種の広報や配布物・ホームページ等をとおしてご家庭に届いていますか。

・肯定的な回答が、生徒85.6%(前年度比+2.1%)、保護者86.3%(前年度比-3.0%)との結果であった。生徒は増加したものの保護者が減少している。

○一斉メールなど複数のツールを併用して、確実に家庭に届くように工夫していきたい。

- 15 教職員は一人一人の生徒を大切にし、いじめを許さない毅然とした態度で生徒に接していると思いますか。

・肯定的な回答が、生徒86.6%(前年度比+6.1%)、保護者79.0%(同-2.3%)との結果であった。

○「いじめは絶対に許されない」という強い信念をもって、思いやりのある生徒を育てられるように、今後も指導にあたっていきたい。

- 16 小山西高校にお子様を入学させてよかったと思いますか。

・肯定的な回答が、生徒86.1%(前年度比+5.8%)、保護者92.1%(前年度比±0)となり、生徒は前年度の評価を大きく回復することができた。学校行事の充実度だけでなく、他項目の高い評価結果からも総合的に学校生活に満足していることが伺える。また、学年別にみると、3年生が最も高い評価となっている。

○1・2年生が年次進行でさらに充実した学校生活を送っていけるよう、さまざまな場面で指導や支援を継続していきたい。

17・18・19

今後、小山西高校で特に重点的に取り組んでもらいたい教育活動は何ですか。3つ選んでください。最も期待するものを回答番号17に、次に期待するものを18に、3番目に期待するものを19にそれぞれマークしてください。

- [1] 部活動の活性化 [2] 学力の向上 [3] 進路指導の充実 [4] 徳性の涵養
[5] 規範意識の育成 [6] 自主性の確立 [7] 体験活動の推奨 [8] 情報教育の充実
[9] 国際化社会への対応 [0] その他（マークシート裏面に具体的に書いてください）

- ・最も期待するものに着目すると、生徒・保護者ともに[2]学力の向上が1位となっている。次いで、生徒は[1]部活動の活性化、[3]進路指導の充実を挙げている。保護者は[3]進路指導、[1]部活動の活性化と生徒とほぼ同じ結果となった。しかし、1位の数値は前年度比、生徒－7.2%、保護者－3%と、ともに数値が下がっており、学習意欲の低下が懸念される。

○個に応じた学習・進路指導のさらなる充実を重ね、学習への意識向上に努めていきたい。

- ・「学力の向上」については、ICT機器の更なる活用が求められる。一方でアナログな方法も重要な手段であることも変わらない。

○適正なバランスについて検討しながら、生徒の意識向上に努めていきたい。

- ・生徒の回答は昨年同様、学力の向上、部活動の活性化について進路指導の充実となっている。一方、保護者は学力の向上の次に進路指導の充実となっている。

○生徒と保護者の立場や考え方の違いを踏まえて支援していくとともに、注力すべき取り組みを精査し、進路指導のさらなる充実を目指していくことが大切である。